

## 私の小さな手を いつも握って

タイトルは、この花の“花言葉”。他に“恥ずかしがり屋”という花言葉もあります。花の名前は、「チゴユリ」。漢字で書くと「稚児百合」です。

春の日差しが森の木々に遮られ、少しヒンヤリとした遊歩道沿いの足元に、1cm程の白い花がたくさん並んで咲いています。小さくてかわいらしくて、恥ずかしそうで、まるで「稚児行列」を見ているみたいです。とっても小さいので、よほど気を付けて見ていないと気付かないかもしれません。

図鑑には「ユリの仲間、やや湿った腐食質の積もった、落葉樹林の日本各地のどこにでも見られる」と記してありました。しかし、陶史の森内では限られた場所で見つけられません。木陰でやや湿気の多い場所は、この場所以外にもたくさんあるのに…。なぜでしょうか？ なにか特別な条件があるのかもしれませんが、原因はわかりません。自然は全く不思議なことばかりです。

花が終わりししばらくすると、右下写真のような真っ黒で直径1cm程の球状の実を付けます。これもなかなか見つけられませんよ。目を凝らして、小さくてかわいい花と実をぜひ見つけてみてください。



### 森の日記

#### ギフチョウ観察会

今年は春の訪れが遅れ、サクラのつばみも堅く、ギフチョウの食草となるカタクリやショウジョウバカマ、ツツジが全く開花していません。ですからギフチョウも2匹しか羽化せず、ちょっと寂しい観察会となりました。

遠くは名古屋や桑名からなどを含む、計15の方が参加され、“春の女神”の美しく愛らしい姿を楽しみ、カメラに収めていました。



### 教室のご案内

#### 5月

##### 陶史の森写生会（自由参加、雨天中止）

5月3日(水・祝)・4日(木・祝) 午前9時～午後3時  
陶史の森の自然や動植物を絵画にします。  
対象は、保育・幼稚園児、小学生です。作品はネイチャーセンター内に展示し、入賞者には賞状・賞品を贈ります。  
※画用紙と画板は用意します。

##### バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

5月28日(日) 午前9時～11時30分  
春の野鳥を観察します。

#### 6月

##### 天体教室（要申込・定員20人、雨天中止）

6月10日(土) 午後7時30分～8時30分  
木星と初夏の星座を観察します。

##### ミツバチ教室（要申込・定員120人）

6月11日(日) 午前9時～11時30分  
蜂蜜搾りを体験し、味わいます。

##### バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

6月25日(日) 午前9時～11時30分  
初夏の野鳥を観察します。

